

※補足 こちらの機能はプログラミング機能になります。何かしらの言語でプログラ ミングの経験をお持ちの方がご利用の対象となります。



ロジックフィルタ機能を使うとk-Reportで帳票PDFを生成する前のkintoneのデータをプログラムロジックで加工する事が可能になります。

下記図はk-Report内でのデータ処理フローになります。赤枠の「ロジックフィルタによるインプットデータの加工」が本機能の該当箇所になり、kintoneから送られてきたデータをk-Reportに引き渡す前にデータの加工機能を実現します。





この機能を使うとメインの帳票ページアップ処理前のデータを加工出来ますので

・kintoneのテーブルデータから特定のデータだけを印刷対象から外したい(PDF描画時のみデータを非表示に)

・kintoneのテーブルデータの最終行に1行追加して「以上」の文字をPDFで描画するようにしたい

・データの状況に応じてページを増やしたり減らしたりコントロールをしたい

等、様々な前処理を実現する事が出来るようになります。



ロジックフィルタ機能を有効にするには帳票の詳細設定画面より「ロジックフィルタ」の機能を有効に切り替えます

帳票デザインデータ (k-Reportデザイナーのデータ「拡張子が.kreport」)	択 (※注意: 到
帳票素材データの保管(10MB以下の Zip圧縮, Excel, PowerPoint 等の元素 じ 現在登録されている 「素材データ」 をダウンロード ファイルを選択 選択されていません	帳票デザインデータ (k-Reportデザイナーのデータ「拡張子が.kreport」) 1 現在のデータを ダウンロード ファイルを選択 選択されていません
ロジックフィルタ(※注意!: ロジックフィルタ機能をお使いで、正常に処理出	帳票素材データの保管(10MB 以下の Zip圧縮, Excel, PowerPoint 等の元素材データ)
ここを有効にする	 ロジックフィルタ (※注意!:ロジックフィルタ機能をお使いで、正常に処理出来ないコードを記述した時にはPDFが出力出来なくな \$data = \$GLOBAL_KINTONE_DATA; return \$data;
▲ ○ ※ロジックフィルタの記述にはプログラミング言語PHPを使います。	有効にするとコードエ ディタが開きます



ロジックフィルタ機能を有効にするとデフォルトで下記のロジックがセットされています。



\$GLOBAL_KINTONE_DATAはkintoneから送られてきたk-Reportに引き渡す直前のデータが格納されています。このデータを元に加工処理を行い

return

で変数をk-Reportに返す事により加工後のデータがk-Reportで描画されます。上記のサンプルですとシンプルに \$GLOBAL_KINTONE_DATAのデータを受け取って、そのままk-Reportにreturnで返す内容になっています。 \$GLOBAL_KINTONE_DATAのデータ構造はkintoneアプリ側のフィールド構造とk-Reportの帳票タイプによって変わります。

kintoneから入力される値を変更するロジックサンプル

kintoneから入力される値を変更するロジックサンプル(未処理の時)



大阪府難波

テーブル

テーブル項目1	テーブル項目2	テーブル項目3
佐藤の値1_1	佐藤の値1_2	佐藤の値1_3
佐藤の値2_1	佐藤の値2_2	佐藤の値2_3



kintone

kintoneから入力される値を変更するロジックサンプル(処理を入れた時)

名前 佐藤 二郎 住所 大阪府難波 テーブル			kintone
テーブル項目1	テーブル項目2	テーブル項目3	
佐藤の値1_1	佐藤の値1_2	佐藤の値1_3	
佐藤の値2_1	佐藤の値2_2	佐藤の値2_3	

下記のサンプルロジックでは元のデータの「名前」の値をを「テスト タロウ」に変更しています。



kintoneから入力されるレコードを削除するロジックサンプル

kintoneから入力されるレコードを削除するロジックサンプル(未処理の時)



佐藤の値2_1

佐藤の値2_2

佐藤の値2_3

kintoneから入力されるレコードを削除するロジックサンプル(処理を入れた時)



kintoneから入力されるレコードを複製するロジックサンプル

kintoneから入力されるレコードを複製するロジックサンプル(未処理の時)



kintoneから入力されるレコードを複製するロジックサンプル(処理を入れた時)

A前 佐藤 二郎 主所 大阪府難波 テーブル			kintone		
テーブル項目1	テーブル項目2	テーブル項目3			
佐藤の値1_1 佐藤の値2_1	佐藤の値1_2 佐藤の値2_2	佐藤の値1_3 佐藤の値2_3			
-					
<pre>\$data = \$GLOBAI \$target_record \$target_record array_push(\$da return \$data; 名前 = 佐藤 二郎</pre>	L_KINTONE_DATA; = \$data[0]["テー ["テーブル項目1: ta[0]["テーブル:	ブル : sub″][count(\$da テーブル項目1″] = ″★ sub″], \$target_record	ata[0]["テーブル : sub"]) ★★複製したデータ"; d);	- 1];	レコードを複製して内容を変更する
佐藤の値1_1	佐藤の	值1_2	佐藤の値1_3	PDF	
佐藤の値2_1	佐藤の	值2_2	佐藤の値2_3		レコードが複製されました。且つこのサンプルでは帳票デ ザイナー上で「描画判定機能」を用いて★マークが付くと コ★ントフタイルを変更するように設定されています
★★★複製したデー	- タ 佐藤の	值2_2	佐藤の値2_3		



			商品1 説明1	商品6 說明6 🙀
			商品2 説明2 榮	商品 說明 🙀
真目1	項目2	画像	商品3 說明3 🔑	商品7 說明7
商品1	説明1	<u>*</u>	商品4 說明4	
÷			商品5 說明5 4	
句品2	記明2	*		フッター情報
商品3	説明3			
商品4	説明4			縱位置固定
商品5	説明5			
		0.0	ページ1	ページ2
	説明6	244	ヘッダー情報	ヘッダー情報
商品6				
商品6 商品	説明		商品1 說明1	商品6 說明6 🙀
商品6 商品	説明		商品1 說明1 读	商品6 説明6 👷 商品 説明
商品6 商品 商品7	説明 説明7		商品1 政明1 商品2 説明2 商品3 説明3	 商品6 説明6 使受 商品 説明 定算 商品7 説明7 (2010)
商品6 商品 商品7	説明 説明7		商品1 設明1 商品2 説明2 商品3 説明3 商品4 説明4	商品6 説明6 商品 説明 商品7 説明7 フッター情報
商品6 商品 商品7 マグループ テーブル行数	説明 説明7		商品1 記明1 商品2 説明2 商品3 説明3 商品4 説明4 商品5 説明5	商品6 説明6 商品 説明 承品7 説明7 アッター情報

No.17



①ロジックフィルタで動的にテーブルデータの行数をカウントして、最終 ページの残行数を算出してkintoneメインレコードの「テーブル行数」に 結果を格納

\$data = \$GLOBAL_KINTONE_DATA;

if(count(\$data[0]["テーブル:sub"]) == 0)

\$cnt = 0;

else

\$cnt = count(\$data[0]["テーブル:sub"]) % 5; if(\$cnt == 0)

\$cnt = 5;

\$data[0]["kintone:main"][0]["テーブル行数:テーブル行数"] = \$cnt; return \$data;

③最終ページの描画するデータの行数に応じて描画されるフッターが 変わるので、フッターが移動する表現を実現





②帳票デザイナーでは残テーブル行数に応じ て表示されるフッターをそれぞれ用意しておく





	テーブル
	型番
kintone	G2
Kintone	G1
	P3
	D1

型番			単価	数量	金額
G2	炭水化物	パスタ400g	300	20	6,000
G1	炭水化物	ごはん200g	150	30	4,500
P3	お菓子	ポテトチップス ピザ味	200	20	4,000
P1	お菓子	ポテトチップス	150	5	750
C1	お菓子	チョコレート	1000	100	100,000
Р3	お菓子	ポテトチップス ピザ味	200	2	400



ロジックフィルタ機能を使わず出力

ロジックフィルタによるカスタマイズがを未実施の時、kintoneのテーブル データがそのまま印字されます

	御中	_	₹000-0000	
下記の通りお見積りいたします。 なにとぞご用命賜りたくお願いいたし	、ます		- 000-0000 ○○県△△市□□ ★★★株式会社	□囲丁0-00-0
合計金額		円	担当者 TEL. 000-000-C E-Mail	0000
品名	数量	単位	単価	金額
パスタ400g	20		300	6,000
ごはん200g	30		150	4,500
ポテトチップス ピザ味	20		200	4,000
ポテトチップス	5		150	750
チョコレート	100		1,000	100,000
ポテトチップス ピザ味	2		200	400
			자 = 1 스 6조	

ロジックフィルタ機 能を活用すると… ロジックフィルタによる出力カスタマイズを実装すると、kintone→k-

ロシックノイルタによる出力ガスタマイスを実装すると、Kintone→k-Reportに入力されるデータの加工が可能になるので、本来kintone側で 持っていないデータも計算、付与出来る。

	.1. փով	_	〒000-0000	
下記の通りお見積りいたします。 なにとぞご用命賜りたくお願いいた	します		○○県△△市□□ ★★★株式会社] 田丁0-00-0
合計金額		円	担当者 TEL. 000-000-0 E-Mail	0000
品名	数量	単位	単価	金額
パスタ400g	20		300	6,000
ごはん200g	30		150	4,500
			炭水化物 小計	10,500
ポテトチップス ピザ味	20		200	4,000
ポテトチップス	5		150	750
チョコレート	100		1,000	100,000
ポテトチップス ピザ味	2		200	400
			お菓子 小計	105,150
		1		

データのカテゴリに応じて小計 項目欄と空白行を挿入

	型番			単価		数量		80	
	G2	炭水化物	パスタ400g		300		20	6,000	
kintone	G1	炭水化物	ごはん200g		150		30	4,500	
KIIIOIIE	P3	お菓子	ポテトチップス ビザ味		200		20	4,000	
	P1	お菓子	ポテトチップス		150		5	750	
	CI	お果子	チョコレート ポテトチップス ピザ味		200		100	100,000	
		1 200	ホティクランスとシネ		200		2	400	
a = \$GLOBAL_KINTONE_DATA: (\$i = 0: \$i < count(\$data): \$i++) { mp_sub_table = []; roup = ""; ubtotal = 0; r (\$i2 = 0: \$i2 < count(\$data[\$i]["テーブル; \$tmp_sub_table[] = \$data[\$i]["テーブル; su \$group = \$data[\$i]["テーブル; su \$subtotal += intval(\$data[\$i]["テーブル; su \$subtotal += intval(\$data[\$i]["テーブル; sub"][\$i2 + グループ: グループ"]) { \$tmp_sub_table[] = [" グループ: グループ"]) { \$tmp_sub_table[] = [" グループ: グループ"] > "", " 商品名: 商品名" => "", " 単位: 単位" => "", " 単位: 単位" => "", " 単位: 単位" => "", " 雀額: 金額" => \$subtotal,]; \$tmp sub table[] = [[グル 空白 ル:sub″]): \$i2++ 」b″][\$i2]: 」b″][\$i2][″グルー sub″][\$i2][″金額 + 1]) && \$group !	ープ」フィールドの状況 行を動的に追加する ・プ : グループ"]; : 金額"]); = \$data[\$i]["テーブ)	<mark>兄に応じて小計行と</mark> └ : sub″][\$i2 +		ご記のロジックフィルタを 実現出来ます 「記の通りお見積りいたします。 にとぞご用命賜りたくお願いい こ計金額	セットすると下す 見積 ^{御中}	<mark>記のカ</mark> 注 書	テゴリ毎の小計行の 〒000-0000 ○〇県△△市□□町0 ★★★株式会社 担当者 TEL. 000-0000 E-Mail	の追加が D-00-0
					•			-	
"グループ:グループ"⇒>"", "き日々 き日々" → ""					品名	数量	単位	単 価	金額
"グループ:グループ"⇒)"", "商品名:商品名"⇒)"", "数量:数量"⇒)",				18	品 名 スタ400g	数量 20	単位	単 価 300	金 額 6,000
<pre></pre>				パご	品 名 スタ400g はん200g	数量 20 30	単位	単価 300 150	金額 6,000 4,500
"グループ:グループ"⇒)" ", "商品名:商品名"⇒)" ", "数量:数量"⇒)" ", "単位:単位"⇒)" ", "単価:単価"⇒)" ", "金額:金額"⇒)" ", "				パご	品 名 スタ400g はん200g	数量 20 30	単位	単価 300 150 炭水化物小計	金額 6,000 4,500
<pre></pre>				パ ご	品 名 スタ400g はん200g	数量 20 30	単位	単価 300 150 炭水化物小計	金額 6,000 4,500 10,500
"グループ:グループ" ⇒> "", "商品名:商品名" ⇒> "", "数量:数量" ⇒> "", "単位:単位" ⇒> "", "単位:単価" ⇒> "", "金額:金額" ⇒> "",]; \$subtotal = 0; closs if (lisect(\$deta[\$:]["= -ī॥ch]	-~1T¢:9 , 1T\ <u>></u> _[パ ご	品 名 スタ400g はん200g	数量 20 30	単位	単価 300 150 炭水化物小計	金 額 6,000 4,500 10,500
"グループ:グループ"⇒> "", "商品名:商品名"⇒> "", "数量:数量"⇒> "", "単位:単位"⇒> "", "単位:単位"⇒> "", "単価:単価"⇒> "", "金額:金額"⇒> "",]; \$subtotal = 0; !lse if (!isset(\$data[\$i]["テーブル:sub \$tmp sub table[] = [o″][\$i2 + 1])) {			パープ	品 名 スタ400g はん200g テトチップス ピザ味	数量 20 30 20 20 20	単位	単価 300 150 炭水化物小計 200	金额 6,000 4,500 10,500 4,000
<pre>"グループ:グループ" ⇒ "", "商品名:商品名" ⇒ "", "数量:数量" ⇒ "", "単位:単位" ⇒ "", "全額:金額" ⇒ "",]; \$subtotal = 0; else if (!isset(\$data[\$i]["テーブル:sut \$tmp_sub_table[] = ["グループ:グループ" ⇒ "",</pre>	o″][\$i2 + 1])) {			パご	品 名 スタ400g はん200g テトチップス ピザ味 テトチップス	数量 20 30 20 20 20 5	単位	単価 300 150 炭水化物小計 200 150	金 額 6,000 4,500 10,500 4,000 750
<pre>"グループ:グループ" ⇒> "", "商品名:商品名" ⇒> "", "数量:数量" ⇒> "", "単位:単位" ⇒> "", "金額:金額" ⇒> "",]; \$subtotal = 0; else if (!isset(\$data[\$i]["テーブル:sub \$tmp_sub_table[] = ["グループ:グループ" ⇒> "", "商品名:商品名" ⇒> "",</pre>	o″][\$i2 + 1])) {			パ ご ポ チ	日 名 スタ400g はん200g テトチップス ピザ味 テトチップス ョコレート	数量 20 30 20 20 20 5 5 100	単位	単価 300 150 炭水化物小計 2000 150 1,000	金額 6,000 4,500 10,500 4,000 750 100,000
<pre>"グループ:グループ" => "", "商品名:商品名" => "", "数量:数量" => "", "単位:単位" => "", "金額:金額" => "", "金額:金額" => "",]; \$subtotal = 0; else if (!isset(\$data[\$i]["テーブル:sub \$tmp_sub_table[] = ["グループ:グループ" => "", "商品名:商品名" => "", "数量:数量" => "", "単位:単位" => "",</pre>	o"][\$i2 + 1])) {			パ ご ポ チ ポ	日 名 スタ400g はん200g テトチップス ピザ味 テトチップス ョコレート テトチップス ピザ味	数量 20 30 20 30 20 30 20 30 20 5 100 2	単位	単価 300 150 炭水化物小計 200 150 1,000 200	金額 6,000 4,500 10,500 4,000 4,000 750 100,000
 ブルーブ:ブループ" => "", "商品名:商品名" => "", "数量:数量" => "", "単位:単位" => "", "単位:単位" => "", "金額:金額" => "", "金額:金額" => "",]; \$subtotal = 0; else if (!isset(\$data[\$i]["テーブル:sub\$tmp_sub_table[] = ["グループ:グループ" => "", "商品名:商品名" => "", "数量:数量" => "", "単位:単位" => "", "単位:単位" => "", "単価:単価" => "[\$group] 小計", "金額:金額" => \$subtotal, 	5″][\$ i2 + 1])) {			パ ご ポ ポ チ ポ	日 名 スタ400g はん200g テトチップス ピザ味 テトチップス ビザ味 ョコレート テトチップス ピザ味	数量 20 30 20 30 20 5 100 2	単位	単価 300 150 炭水化物小計 200 150 1,000 200 お菓子 小計	金額 6,000 4,500 10,500 4,000 750 100,000 400 105,150
<pre>"グループ:グループ" => "", "商品名:商品名" => "", "数量:数量" => "", "単位:単位" => "", "全額:金額" => "", "金額:金額" => "",]; \$subtotal = 0; else if (!isset(\$data[\$i]["テーブル:sub \$tmp_sub_table[] = ["グループ:グループ" => "", "商品名:商品名" => "", "数量:数量" => "", "単位:単位" => "", "単価:単価" => "{\$group} 小計", "金額:金額" => \$subtotal,]; \$ubtotal = 0;</pre>	o"][\$i2 + 1])) {			パ ご ポ ポ チ ポ	日 名 スタ400g はん200g テトチップス ピザ味 テトチップス ョコレート テトチップス ピザ味	数量 20 30 20 20 20 5 5 100 2 2	単位	単価 300 150 成水化物小計 200 1 1,000 200 お菓子小計	金額 6,000 4,500 10,500 4,000 4,000 750 100,000 400 105,150
<pre>"グルーブ:グループ" => "", "商品名:商品名" => "", "数量:数量" => "", "単位:単位" => "", "金額:金額" => "",]; \$subtotal = 0: else if (!isset(\$data[\$i]["テーブル:sub \$tmp_sub_table[] = ["グループ:グループ" => "", "商品名:商品名" => "", "数量:数量" => "", "数量:数量" => "", "単位:単位" => "", "单位:単位" => "[\$group] 小計", "金額:金額" => \$subtotal,]; \$subtotal = 0; \$rroup = "";</pre>	o"][\$i2 + 1])) {			パご	日 名 スタ400g はん200g テトチップス ピザ味 テトチップス ョコレート テトチップス ピザ味	数量 20 30 20 30 20 5 100 2	単位	単価 300 150 炭水化物小計 200 1 3 1,000 200 200 名 文 名 文 子 (1 3 2 1 2 0 1 1 0 2 0 1 1 0 0 1 1 0 0 1 1 0 0 1 1 0 1 1 0 1	金額 6,000 4,500 10,500 4,000 4,000 100,000 400 105,150
<pre>"グルーブ:グループ" => "", "商品名:商品名" => "", "数量:数量" => "", "単位:単位" => "", "単価:単価" => "", "金額:金額" => "",]; \$subtotal = 0; else if (!isset(\$data[\$i]["テーブル:sub \$tmp_sub_table[] = ["グループ:グループ" => "", "商品名:商品名" => "", "数量:数量" => "", "数量:数量" => "", "単位:単位" => ", "単価:単価" => "[\$group] 小計", "金額:金額" => \$subtotal,]; \$subtotal = 0; \$group = "";</pre>	o"][\$i2 + 1])) {			パご ポポチポ	日 名 (スタ400g ではん200g デトチップス ピザ味 テトチップス ョコレート テトチップス ピザ味 デトチップス ピザ味	数量 20 30 20 20 5 100 2 2	単位	単価 300 150 歳水化物小計 200 150 1,000 200 名 支 子 小計 200 1,000 200 3 200 1 200 200 200 200 3 2 1 2 2 0 1 2 2 0 1 2 0 1 2 0 1 2 0 1 2 0 1 2 1 2	金額 6,000 4,500 10,500 4,000 750 100,000 400 105,150
<pre>"グループ:グループ" ⇒ "", "商品名:商品名" ⇒ "", "對位:単位" ⇒ "", "単価:単価" ⇒ "", "金額:金額" ⇒ "", "金額:金額" ⇒ "",]; \$subtotal = 0: else if (!isset(\$data[\$i]["テーブル:sub \$tmp_sub_table[] = ["グループ:グループ" => "", "商品名:商品名" => "", "数量:数量" => "", "単位:単位" => "", "単位:単位" => "[\$group] 小計". "金額:金額" => \$subtotal,]; \$subtotal = 0; \$group = "";</pre>	o"][\$i2 + 1])) {			パ ご ポ ポ チ ポ	日 名 スタ400g はん200g テトチップス ピザ味 テトチップス ヨコレート テトチップス ピザ味 データのカテゴリに応じ 百日週と空ウ (二を)	数量 20 30 20 20 20 5 100 2 2	単位	単価 300 150 炭水化物小計 に び 150 1,000 に 3 た菓子小計 に 4	金 額 6,000 4,500 10,500 4,000 750 100,000 400 105,150



帳票タイプが「レコード個別タイプ」の時

データ構造サンプル(レコード個別タイプの時)

データイメージ



各レコードの状態

名前			
佐藤二郎			
住所			
大阪府難波			
テーブル			
テーブル項目1	テーブル項目2	テーブル項目3	
佐藤の値1_1	佐藤の値1_2	佐藤の値1_3	
佐藤の値2_1	佐藤の値2_2	佐藤の値2_3	

名前		
時等三郎		
住所		
北海道函館		
テーブル		
テーブル項目1	テーブル項目2	テーブル項目3
テーブル値1_1	テーブル値1_2	テーブル値1_3
テーブル値2_1	テーブル値2_2	テーブル値2_3
テーブル値3_1	テーブル値3_2	テーブル値3_3





配列先頭にはメインオブジェクトの配列番号が入ります 1番目のレコード(\$GLOBAL_KINTONE_DATAの配列番号は0)



\$GLOBAL_KINTONE_DATA配列の構造は上記になる

データ構造サンプル(レコード個別タイプの時)

2番目のレコード(\$GLOBAL_KINTONE_DATAの配列番号は1)

1		Array							
			Array						
			0	Array					
		\uparrow		\$revision	02				
デーク配列来早			•	[©] \$id					
		「ノープ名」		details#更新者	Array				
			アイテム配列番号		type	MODIFIER	ξ		
名前				•	value	Array			
						code	demo@a-job.dev		
時寺 二郎				フィールド識別子		name	DEMO		
()				details#作成者	Array	<u></u>			
住所					🖱 type	CREATOR			
北海道函館					© value	Array			
						code	demo@a-job.dev		
テーブル						name	DEMO		
				◎レコード番号:レコー	03		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
テーブル項目1	テーブル項目2	テーブル項目3		ド番号					
ニーブル (荷1 - 1	ニ ブル 値1 つ	ニーブル 値1 つ		◎更新者:更新者	⊈ ↑				
テーフル直1_1	テーンル直1_2	テーンル直1_3		◎作成者:作成者	(
テーブル値2_1	テーブル値2_2	テーブル値2_3		◎住所:住所	(E î館				
テーブル値3 1	テーブル値3 2	テーブル値3 3		◎名前:名前	 時等 三郎 				
ッ ッル喧5_1		у уулёз <u></u> з		◎更新日時:更新日時	© 2024-01-21T04	:41:00Z			
				●作成日時:作成日時	© 2024-01-21T04	:38:00Z			
		ロテーブル:sub	Array						
kintoneの構造が上記の場合			0	Array					
				●テーフル項目2:テーフ ル項目2	●テーフル値1_2				
				リンスロン	プロテーブル値1 3				
				ル項目3					
				◎テーブル項目1:テーブ	ブ 🗊 テーブル値1_1				
				ル項目1					
			01	Array					
				□テーブル項目2:テーブ	∫ ◎テーブル値2_2				
					ブロニーブル 店つつ				
				しテークル項目3.テーク ル項目3					
				◎テーブル項目1:テーブ	ブ □テーブル値2_1				
				ル項目1					
			© 2	Array					
				◎テーブル項目2:テーブ	ブ 🗇 テーブル値3_2				
				ビテーフル県日3:テーフ ル項目3	●テーノル個3_3				
				◎テーブル項目1:テーブ	ブ 🗍 テーブル値3 1				
				ル項目1	, ,,,,			Php 📭 🥒 🦳 🕋	
<u>I</u>			le .					J J U	

\$GLOBAL_KINTONE_DATA配列の構造は上記になる



帳票タイプが「一覧タイプ」の時

データ構造サンプル(一覧タイプの時)

帳票タイプが一覧だけの時はkintoneのメインデータのみで、テーブルやアプリ連携のデータは配列には含まれません									
		Array							
		C kintone : main							
			30	Array	01				
		T		▲	Srevision				
グループ名(一覧タイプの時は				○ \$IQ	04 Ameri				
			ALTACO PUTO	アイテム配列番号	Odecalls#更利有				
kintone : mainのみ)			\uparrow						
				' フィールド識別子	Value	Code	demo@a-job dev		
				II			oname		
			O details#作成者						
Ľ						Otype			
						Value	Code	demo@a-jab dev	
							0 code		
	レコード番号	名前				0.4	Uname	OBLINO	
				0レコード番号:レコード番号					
4 佐藤 二郎		佐藤二郎				DEMO			
	3	時等 三郎							
<u> </u>					○ 石削; 石削 ① 百新口時, 百新口時				
				1					
				0 .	C224-01-21104.44.002				
01			7 1	Strevision	02				
	kintoneの	構造が上記の場合 ようしん しんしょう しんしょ しんしょ							
					○ Jud □ details#亜新考	Array			
				Otype	MODIFIER				
				[©] value	Array				
					, and o	© code	demo@a-iob.dev		
						name	DEMO		
			□dotailc#作成老	Array	μ				
					Otype	CREATOR			
					0 value	Array			
							© code	demo@a-job.dev	
							name	DEMO	
			じしつード番号・レコード番号	03	[L]				
			□ 更新者: 更新者						
			◎作成者:作成者	 DEHO ① DEMO ③ 北海道函館 ③ 時等 三郎 ③ 2024-01-21T04:41:00Z ③ 2024-01-21T04:38:00Z 					
			〇住所:住所						
			 ○名前·名前 						
			◎更新日時:更新日時						
								◎作成日時:作成日時	

\$GLOBAL_KINTONE_DATA配列の構造は上記になる

ロジックフィルタでは処理ロジックにプログラミング言語であるPHP8.1の機能限定版エンジンを搭載しています。一般的なプログラミングでもよく使用されている言語ですので、変数やif文等、データ処理に必要な機能を備えています。PHPについての詳細は下記のアドレスよりご確認ください。 https://www.php.net/



※補足 本システムに搭載されているPHPでは下記の制限がございます。 ・ロジック全体の文字数は100,000文字以内 ・システム、ファイル、ネットワーク、データベース等の文字列処理以外の機能は動作しません。